

地域ケア会議における課題の抽出（介護予防・集いの場・生活支援に関すること）

令和3年度地域包括支援センター実績報告書より抜粋

①介護予防関連

- ・介護予防への意識が低い（個人・地域）
- ・個人での介護予防活動の継続は難しく、集いの場など介護予防への取り組みの場が必要。
- ・怪我無く歩行練習や運動ができる場所が欲しいが、地域に場所がない。
歩行機能の低下が起きている事例が多い。
- ・介護予防への意識が低く治療やリハビリにつながらない。行動変容に繋がるアプローチが必要。
- ・農業地域ではギリギリまで仕事を続け、重度化してからの介護申請の傾向がある。

②集いの場関連

- ・コロナ禍により老人クラブやサロンが中断、休止となり集いの場がなくなっている。
- ・地縁関係が強い場合、既存の集いの場に参加するのが難しい傾向にある。
- ・高齢者の趣味活動の場が地域には少ない。
- ・体調不良や機能低下等で一度やめてしまった地域活動に再度参加するのは難しい。
近所のつながりや声掛けが必要。
- ・仲間と安全に運動のできる環境ができたが、広い地域に1ヶ所では不足。
場所を増やす担い手が必要。
- ・山間部斜面地に居住する高齢者の外出手段、集いの場が不足している。
- ・自宅周辺に坂道が多い場合、集いの場や地域活動に参加するのが難しい。
- ・外出に家族の支援を必要とする高齢者は集いの場に参加することも難しい傾向にある。

③生活支援関連

- ・自宅周囲が坂道の際は外出が困難で、移動販売等もなければ買い物さえ困難になる。